

外部評価 実施日	6 年 7 月 2 日
-------------	-------------

(別紙2ー4)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人太子福祉会	代表者	荒尾 潤
事業所名	尾上の郷	管理者	北村 陽子

法人・事業所の 特徴	法人として加古川に4施設、太子町に1施設、こども園も2施設運営している。「尾上の郷」では6事業を展開し在宅介護、施設入所のうち、その方に今、必要なサービスを考え対応できる。その中の1事業所として「尾上の郷」小規模多機能型居宅介護がある。通いを中心に訪問・泊りを組み合わせ柔軟に対応している。配食サービスも行い、訪問サービスは充実している。
---------------	---

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	0 人	3 人	0 人	2 人	1 人	0 人	11 人	0 人	18 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・利用者アンケートを実施する。	・利用者用、家族用と2パターン作成しアンケートを行った	・答えやすい形式で質問を考えて作成する	・質問内容を項目ごとに分けてアンケート作成しわかりやすいように表記する
B. 事業所のしつらえ・環境	・引き続きコロナ感染予防に努め、換気、手洗い、消毒、検温の実施を行う。	・座学、実践研修を行い、早急に対応できるようにした	・感染症が発症した時に全員がすぐに動けるように周知徹底する	・コロナ緩和に伴いバーナーシヨソ撤去など行うがその中でどう感染対策を行えるか再検討する
C. 事業所と地域のかかわり	・地域密着型サービス事業所であることを意識し地域の方に気持ちのよい挨拶をする	・来所された方はもちろん入道ですれ違った方にも挨拶ができ、地域で生活している意識が持った	・今後もっと地域の中にとけこめるようにしていく	・いつでも相談できる事業所を目指し来所しやすい環境を考える
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	・コロナ禍でも参加できるイベント情報を収集し参加する。	・廃品回収の協力ができた。	・利用者が参加できそうなイベントや地域清掃など情報を集める	・民生委員、地域の方との情報交換の場を作る
E. 運営推進会議を活かした取り組み	・管理者以外の職員も会議へ参加し活動報告できる。	・管理者以外の職員の参加が難しく、会議等で報告を行った。	・運営推進会議に参加される方がどのような情報を知りたいか聞く。	・管理者以外の職員も会議へ参加し活動報告できる。
F. 事業所の防災・災害対策	・コロナ禍の中で地域の防災訓練に参加できなくても施設内の防災訓練は継続していく。	・施設内の防火・災害訓練は実施できた。	・BCPの研修を行い職員が周知し意識して日常生活する	・地域の防災訓練、事業所内の研修も増やしていく